



「急死した友人が生前に献眼登録」

先日、長年親しくさせていただいた友人が、くも膜下出血で急死されました。突然のことでしたが、私を含め周囲の者は、葬儀の過程で、故人の人柄を改めて感じさせられました。仏壇にはいつ書かれたか遺言書が作成されており、いつ撮ったものなのか遺影の準備もされていました。

そして何より驚かされたのは、生前に献眼登録されていたことです。

5, 6年前、私たちは献眼活動の講演会に行き、京唄子さんのお話をききました。帰り際に友人が話されたことを思い出します。「これまで病気で長く患った事もなく、娘たちも立派に成長し、いろんな国へも行ったりとって幸せな人生やったわ。このご恩返しじゃないけど、少しでもだれかのためにお役に立てたらこんなに素晴らしいことはないわね」と。

いつお宅へうかがってもちりひとつないように家を磨き、お料理もお裁縫もプロ顔負けの方でした。亡くなった今、その眼がだれかのひかりとなっていることを信じてやみません。心からご冥福をお祈りするとともに、素晴らしい方と出会えたことに感謝し、これからの人生のお手本にしていきたいと思えます。

(黒部市 女性 北日本新聞1月16日 読者のひろば 掲載)

<1月の事業実績の概要>

● 献眼登録者数	4名
累計	18,731名
● 献眼者数	1名
累計	1名
● 寄付金収入	50,000円
累計	50,000円
● 賛助会費収入	23,000円
累計	23,000円
● 助成金収入	0円
累計	0円
● 募金収入	0円
累計	0円

■ お一人からご献眼いただきました。

去る1月26日、黒部市内の30歳代の男性の方よりご献眼いただきました。臓器提供の意思表示カードをお持ちの方で、ご本人の意思を尊重し、提供可能であった眼球のみの提供となりました。ご実家のある上越市にてご葬儀が執り行われ、アイバンク事務局員が地区ガバナーの感謝状を伝達させていただき、弔辞を拝読いたしました。尊い角膜によりお二人の方が移植を受けて光を取り戻されております。

■ 助成金・賛助会費・寄付金 (1/1~1/31 現在) 敬称略

賛助会費(法人会員)

富山昭和ライオンズクラブ 1口

富山セントラルライオンズクラブ 1口

(個人会員)

村本勝夫(高岡古城LC) 1口

寄附金

雑俵弘文(よたみセントラルLC)

50,000円

[賛助会員ご加入のお願い]

アイバンクは、ライオンズクラブメンバーのお一人お一人のご理解と善意によって運営されています。県アイバンク役員構成は殆どライオンズクラブのメンバーが占めており、評議委員には各クラブより選出され、理事にはRC、ZC及び地区四献委員にもなっていていただいております。

県アイバンクに対する要望や提案があれば各クラブの評議員さん又は理事にお伝え下さい。

お陰さまで昨年も多くの献眼をいただきました。そのことが角膜を待ち望んでおられた大勢の患者さんに光がもたらされ感謝の言葉が寄せられています。何卒メンバー各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

財団法人富山県アイバン <http://www.toyama-eyebank.com>

富山市杉谷 2630 番地 TEL 076-434-5710/FAX 076-436-0146